



保健目標

正しい手洗いと咳エチケットを覚えましょう

ほけんだより

第 442 号 令和 6 年 12 月 1 日 光明第三こども園

早いもので、今年も残り 1 か月となりました。冬は気温・湿度ともに低下し、様々な感染症が流行しやすい季節となります。年末年始は何かと忙しく、無理を重ねてしまうと身体の免疫力も低下し、病気にかかりやすくなります。手洗い・咳エチケット等の感染予防対策を行い、楽しい年末年始をお過ごしください。

爪は短く切りましょう

爪は、手洗いの際に十分に洗うことが難しい部位です。そのため、爪は汚れが溜まりやすく、不潔になりやすいです。指先は、口元に触れる機会も多く、直接バイ菌を取り込んでしまう可能性が高くなります。また、爪が伸びていると、引っ掻いてしまったり折れたり、怪我の原因になります。週に一度は指先を確認することをおすすめします。

手洗いの取り組み

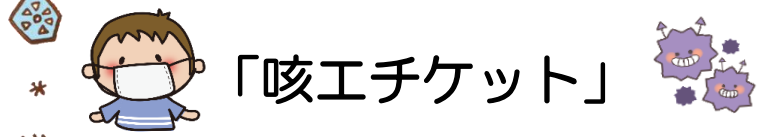
光明学園の看護師会では、毎年手洗いの保健指導を実施しています。

こども園を卒業するまでに、子どもたちが手洗いに対する意識を高められるように、乳児は先生を見本に、幼児は子どもたち同士で教え合い、主体的に手を洗うことが出来るよう見守っていきたいと思います。



「手洗い」

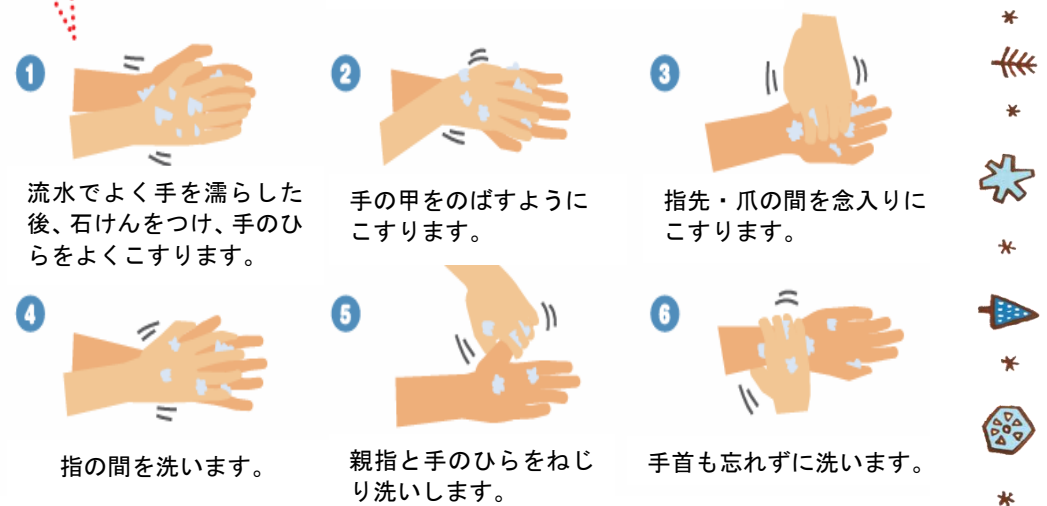
手洗いは、だれでも簡単にできる感染予防です。ウイルスや細菌などを体の中に入れないために、外から帰った後、遊び後、食事やおやつ前には必ず正しい手洗いをしましょう。30 秒くらいかけて、丁寧に洗うことが大事です。3 歳まではおうちの人や見守りが必要です。



「咳エチケット」

咳やくしゃみは、気道や鼻に侵入した異物を追い出すために起こる体の防衛反応です。咳エチケットとは、感染症を拡散させないために、咳・くしゃみをする際にマスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることです。咳やくしゃみをするとうィルスが 2-3m 飛ぶといわれています。咳エチケットを守り、感染を防ぎましょう。

正しい手の洗い方



3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



※2 歳未満の子どもは呼吸機能が未熟なため、マスク着用は推奨されていません。

